



JCHO可児とうのう病院

研修医生活ご紹介

現在の研修について

〈1年次〉 充実しています。

あらゆる職種のスタッフとの距離が近く、全員が一丸となって仕事をしているのだと感じながら過ごすことができます。1年間である程度のcommon diseaseが診られるくらいにはなれました。専門課程に進む前に総合的な能力が身につけられると思います。

〈2年次〉 比較的小規模な病院で地域に密着しており、工場や外国人、高齢者が多い等の特色ある患者さんと接することができます。かなり自由度の高いプログラムで自分の学びたい分野をたくさん学ぶことが出来ます。

指導医： 印象に残る研修科は？指導医はどんな感じ？

- 熱心な指導医の先生が在籍されているので安心して学ぶことが出来る。大学病院等とくらべ、医師数が少ない為上級医全員が研修医の顔と名前を把握しており、普段から処置、手技の先に声をかけてもらえることが多いです。

内科：

伊藤先生は血液内科だけでなく、広い知識を持っておられ、たくさん質問させていただきました。困った際にはとても丁寧に教えてくださいます。また、知識だけにとらわれず現場の状況に合わせて検査方法を工夫したり、高齢者の多い地域として、今後必要とされる「看取り」について、どうやって家族と向き合っていくかなど、より実際の医療について教えて頂きました。

麻酔科・救急：

救急カンファレンス等研修医間の情報の共有の場を提供していただいたり、率先して研修医に手技を経験させ、実践的な指導をしていただきました。洪先生はいつも研修医の立場に立って下さる心強い指導医で、コンサルも気軽にできます。CV、ルンパール、挿管等、かなり度胸を付けることが出来ました。



外科：

外科の先生方は皆さんとても優しく指導も熱心にしていただけです。手術の際は必ず助手として入ります。とても勉強になります。

整形外科：

研修中はしっかりご指導いただきましたが、プライベートでもマラソン大会にご一緒したり、飲みに行ったりと、いろいろ楽しくお付き合いさせていただきました。



統括診療部長
(麻酔科)
洪 淳憲

○ 救急カンファレンス

毎週水 朝7:50～

研修医が体験した救急搬送等の症例について検討します。

○ Morning seminar

毎週金 朝7:50～

各診療科医師が講師を務めています。

○ Journal Club

毎月最終金 朝7:50～

指導医からの課題抄録（英文）について研修医が順番に担当し抄読会を開催しています。

協力病院での研修・体験談

【のぞみの丘ホスピタル（精神科）：美濃加茂市】

- 児玉院長は、研修医やソーシャルワーカーのたった事前問診を読んだだけでその患者および家族など周辺環境の問題点を鋭く推測し、実際に診察を行うとそれらがすべてピタリと当たっています。経験を積み重ねたベテラン精神科医の実力を知りました。

【JCHO若狭高浜病院（地域医療）：福井県】

- へき地ならではの症例（釣り針が刺さった、クラゲに刺された、溺れた、海岸で足を切った…）など、当院では経験できない症例を丁寧に教えて頂きました。



研修管理委員長より

- ・ 地域に密着した当院ではコモン的な疾患、救命救急から大病院では診られない珍しい病気まで最初から一例一例丁寧に診断、治療する機会が得られます。
- ・ 研修は自主性を重んじており、出来る限り個々の希望に沿ったフレキシブルなプログラムとなっております。

※月に一度開催される研修管理委員会にて研修の進捗状況を確認し、次の研修科を選択することが出来ます。また、常勤のいない診療科についても応相談にてグループ病院での研修が可能です。（例 JCHO中京病院(小児科等)：名古屋市）



副院長（血液内科）
伊藤 貴彦

環境は？（研修医室・福利厚生）

- ・ 若干狭いですが、研修医室があるので良かった。
 - ・ 女性専用宿直室、休憩室があることも良かった。
 - ・ 研修医室は個室で、いくつかの家電が揃っており居心地が良いです。
 - ・ 研修医同志仲が良く楽しく過ごすことができました。
- （当直入りやすい、症例取り合いなし、救急も当番制で平等）
- ・ 福利厚生が手厚く、妻がおりますが子が出来ても安心です。
 - ・ 困ったことがあってもすぐに相談でき、対応していただけるので良かったです。


総務企画課主任：樋口より

当院の魅力は『アットホーム』な病院の雰囲気です。
過去5年間の採用や複数回見学に見えた方の出身は県外からが50%以上。
岐阜県にゆかりのない方が当院に関心を持っていた理由として雰囲気が良かったことも大きな要因だと思います。
一度見学にお越しいただき当院の雰囲気を体感してください。



←研修医エコー練習協力者

1日のスケジュール （消化器内科）

- 7:00 起床・出勤 
自転車で7～8分
- 8:30 業務開始
内視鏡室：胃カメラ
内視鏡は約2ヶ月でひとつおりやらせていただけます
- 12:30 昼食
- 14:00 回診等 病棟へ
CV挿入：内頸、鎖骨下、鼠径
点滴指示等
- 15:00 救急対応
平日日勤帯平均2台程度
研修医で分担し指導医と対応
- 17:30 内科会 週1回
担当患者について上級医とディスカッション
- 18:30 帰宅
マラソン大会出場に向けてトレーニングしたり...
- 22:00 勉強
- 0:00 就寝

2年間の研修を終えて

当初、実家から近く先輩や歴代研修医の方々も広く全国から集まっており里帰り就職がしやすそうであったことや、家庭があり福利厚生も病院選択の重要なポイントでした。入職して短期間でひとつおりの救急対応、手技が身に付き、かなり自由度の高いプログラムで自分の学びたい分野を中心に学ぶことが出来ました。郊外の病院ですが、駅も近く過ごしやすかったです。周りの環境に恵まれて順調に研修を終えることができました。

産婦人科や小児科、地域医療などグループ病院での研修では当院とは全く違う環境で学ぶことができ、新鮮で良かったです。

当院では研修医の人数が少ないこともありより主体的、実践的な研修が可能です。

初期臨床として満足のいく仕事ことができました。
難病や最新の知見を学ぶよりコモンな疾患を学びたかったので希望に添った研修を行うことが出来ました。
また、スタッフがフレンドリーで明るい方が多く安心して研修に取り組むことが出来ました。

